

# 長寿高齢社会における課題

## 上海高齢化率

### 国内で第4位

長寿高齢社会の中国では自立支援介護の促進が課題となっています。

2019年上海の戸籍を持っていてる人口は1450万43000人、60歳以上の上海戸籍人口は518万12000人(前年比14万84000人増)で、高齢化率は35%超(前年比0.8%増)となりました。

また、常住人口でみると上海市2428万1400人のうち、WHOや国連が定義付ける「65歳以上」の高齢者の割合は361万6600人で、高齢化率は14.89%です。

上海市の65歳以上の割合は遼寧省(16.20%)、山東省(15.7%)、重慶市(14.96%)の次に高くなっています。四川省は前年比14%超と高齢化が進んでおり、少なくとも11以上の省市で深刻な高齢社会を迎えています。

また上海の戸籍を持つ人の平均寿命は83.66歳、そのうち男性が81.27歳、女性が86.14歳でした。高齢者の高齢者の健康を脅かす三大疾患、循環器系疾患・腫瘍・呼吸器系疾患は、それぞれ高齢者の死因の43.6%、29.2%、8.2%を占めています。環境汚染問題などが指摘されています。

# 自立支援介護の整備不十分

が、意外と長寿だというのがわかりません。

平均寿命は中国のみならず世界的に伸びていますが、QOLの向上に欠かせない自立支援介護が高齢者になかなか浸透していません。

その背景には、自立支援介護の理念が先走り、政策や規定が十分に整備されていないからです。

現地の介護職員によると、中国では個人のADLの維持・向上に向けたアクセスメント・評価・ケアプラン作成を担える人がいないため、健康な時から行う介護予防しか対策

策がないのが現状だと言います。明るく有意義に生きていくべき長寿高齢社会を目指すためには、政府主導による自立支援介護の推進が必要でしょう。

中国の  
**高齢者マーケット**  
～介護・不動産事業の行方～



ゲストハウス総経理 稲田義人

著者プロフィール  
ゲストハウス総経理。中国事業に携わって7年、介護職員養成学校の立ち上げや日本式介護研修の実施、また、日系介護企業を集めての上海シニア産業フェアの主催等、上海シニア事業全てを総指揮。

(出所：●友集、上海総合为老服务平台、上海統計局中商産業研究院整理、21世紀网)